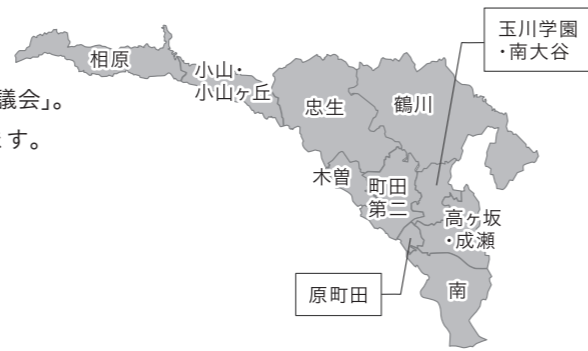


## まちをつなげる町田人

町田市内全 10 地区で設立されている、地域団体のネットワーク「地区協議会」。それぞれの地区で活躍している町田人の 10 編のストーリーをご紹介します。

木曾	7
相原	8
小山・小山ヶ丘	9
玉川学園・南大谷	10
原町田	12
町田第二	13
高ヶ坂・成瀬	14
鶴川	15
忠生	16
南	17

各ページのバーコードを読み取ると、町田市ホームページの各地区協議会のページをご覧いただけます。



## 垣根をこえて、地域をひとつに

団地風景と新旧の住宅が混在する木曾地域。ここで、一戸雅行さんと三沢友子さんは地域の子どものために活動している。

木曾地区協議会の副代表として活躍されているのが、一戸雅行さん。

普段の活動について、聞いてみた。「子どもと地域をつなぎたいという思いから、木曾地区の歴史をテーマにしたクイズラリーを地区協議会の有志で続けています。こういった企画をするにあたり、町内会や青少年

健全育成地区委員など、さまざまな団体に所属する人が話をする機会になってくれるところが、地区協議会の良いところですよ。」税理士として活躍する傍らご近所から頼まれて町内会の会長になったとき、町内の役割が縦割りで交流も薄いことが気になったのだと、一戸さんは語る。「みんなが面白がって参加できるよう、消火訓練をアレンジして『水かけ祭り』というイベント仕立てにして開催しました。行事を準備するだけで精一杯になるんじゃなくて、準備の過程も楽しい方がみんな参加してくれる。地域がひとつになる手助けができたかなあ、と思っています。」違う地区でも同じような取り組みが増えれば是非コラボしたい！と意欲を見せる一戸さん。今後の木曾地区協議会の取り組みに注目だ。



一戸さんと同じ木曾地区協議会で、「放課後子ども教室」のスタッフとして活動しているのが、三沢友子さんだ。放課後の校庭や、空き教室等で子どもの居場所づくりの「まちとも」を実施している。「最初は活動に興味はなかったんです。それで、頼まれた時どうしようかな～と思っていたんですが、義父が『人助けだと思ってやってみたら?』と言ってきて。それで、青少年委員を受けたのがはじまりでした。うちの地域はお芋掘りしかなかったのに、他の地域では本当にいろいろな企画が動いていたのが驚きで。ここでも楽しめるものが増えるよう、これまでにバームクーヘン作りやミニ運動会など、子どもたち発信の企画をお手伝いしました。」子どもた

ちの頑張る姿を見ていると元気が出て、続けていく気持ちになるという三沢さん。「高校生になっても覚えていてくれて、声をかけてもらったりすると本当に嬉しいです。」

地区協議会がなければ、お互いに知り合うこともなかったね、と語るお二人。次の世代を育てるために、もっと新しいことに挑戦する熱意のある人材を必要としているとのこと。我こそはという方、ぜひ地域活動のドアを叩いてみてはいかがでしょうか。



木曾地区協議会で活動されている一戸さん(左)と三沢さん(右)。

